

●平成 22 年度 部活動の状況（クラブ名 活動状況 主な成績）●

陸上競技部	1 先生 5 名、2 年生 6 名の計 11 名で活動しています。部員達は日々練習メニューを計画・実行し、更なるレベルアップを目指し日々奮闘しています。	・インターハイ京都府大会 女子走り幅跳び、女子砲丸投げ 決勝進出 ・ロ丹波高等学校総合体育大会 男子800m 2位、女子100m優勝、女子110mH優勝、女子走り幅跳び優勝
硬式野球部	新チーム 1 年生 11 名、2 年生 7 名、マネージャー 3 名 計 21 名で活動中です。	・京都府高等学校野球春季大会 2 次戦進出 ベスト 16 ・全国高等学校野球選手権大会 3 回戦進出 ・京都府高等学校野球秋季大会 初戦敗退
ソフトボール部	1 年生 5 名、2 年生 2 名、マネージャー 1 名で活動しています。人数は少ないですが、練習の質は落とさず、新入部員を心待ちにしています。	
サッカー部	1 年生 6 名（内マネージャー 2 名）、2 年生 7 名の計 13 名で練習に励んでいます。	
卓球部	今年度は 8 名の新入部員が加わり、全員で 13 名となりました。活気にあふれ、真剣に活動しています。	・ロ丹波高等学校総合体育大会 個人戦、3 回戦 4 名進出 ・秋季大会個人戦 1 名 3 回戦進出・市部公立大会 個人戦 2 回戦 1 名進出
剣道部	校内での基本を中心とした考える稽古と試合を中心とした遠征稽古を重ねることで、技術と精神の鍛錬に励んでいます。目標である全国大会出場に向け日々努力・精進しています。	・京都府高校剣道新入大会 ベスト 8 ・近畿高校剣道大会出場
ソフトテニス部	7 名の元気な新入部員を迎え、活気にあふれています。他校や周山中学校との練習試合をとおして実戦経験も積むことができました。来年度は更なる飛躍が期待できそうです。	・ロ丹波高等学校総合体育大会 団体 3 位
男子バレーボール部	現在 1、2 名で活動しています。公式戦の勝利に向けて毎日練習しています。	・新人戦決勝トーナメント進出・ロ丹波高等学校総合体育大会大会 第 3 位
女子バレーボール部	1 年生 3 名、2 年生 1 名で日々の練習を行い、試合出場では 1 年生 2 名、2 年生 2 名に臨時出場をお願いします。	・新人戦決勝トーナメント進出・ロ丹波高等学校総合体育大会大会 第 2 位
女子バスケット部	2 年生 6 人で練習しています。人数は少ないですが卒業生や他の部の生徒が時々ラリーに参加し練習を助けてくれています。新 1 年生の加入を待っています。	
ワンダーフォーゲル部	夏休みに夜間の富士登山をして美しい日の出をみました。最近では長老山、頭巾山、半国山、八ヶ峰への雪中登山も計画しています。数年ぶりに女子が入りました。	・近畿高校登山大会出場（大阪 剣尾山、妙見山周辺）
吹奏楽部	1 年生 4 名、2 年生 9 名の計 13 名で活動しています。3 月 20 日（日）に開催する第 3 回定期演奏会に向けて練習に励んでいます。	・京都府吹奏楽コンクール 小編成の部 銀賞
放送部	部員が増え 1、2 年で 12 名になりました。昼休みの音楽放送、放課後の練習や取材、また地元のイベント（道の駅開駅式、木材祭り等）での司会にもがんばっています。	・京都府総合文化祭 オネ'イボ'ギャ部門優秀賞
美術工芸部	9 月に川尻美栄子先生からガラス工芸の講習を受けました。	・南丹美術工芸展 佳作受賞 2 名 ・「文化、芸術、食の祭典 もみじ遊山」新北桑展、KBS 京都賞受賞 1 名
美山分校 陸上競技部	今年度は 1 年生 6 名、2 年生 2 名、3 年生 3 名の計 11 名で活動しています。夏の全国大会には 4 名が参加しましたが入賞者なしの残念な結果となりました。しかし秋の近畿大会では学校対抗で男子が 3 位入賞を果たしました。また、地元南丹市園部駅伝競走大会では念願の優勝を大会新記録で飾ることができました。	・全国高校定時制通信制体育大会陸上競技 男子 3000mSC 10 位（京都高校定通新記録） ・近畿高校定時制通信制体育大会陸上競技 学校対抗の部 男子：3 位 女子：13 位 ・京都府高校定時制通信制陸上競技 学校対抗の部 男子優勝 女子 4 位



平成 23 年 1 月発行
第 39 号
京都府立北桑田高等学校後援会
京都市右京区京北下弓削町
京都府立北桑田高校内
TEL0771(54)0022
FAX0771(54)0310



御挨拶

後援会長 高林 良樹

北桑田高校の後援をいただいています後援会員の皆様方には、毎年御理解と御支援をいただき厚くお礼申し上げます。既に新聞等で御承知のとおり昨年の 12 月 25 日、北桑田高校は、地球温暖化防止活動として中国での植林活動が評価され、環境大臣表彰を受賞しました。2004 年から毎年希望生徒による植林活動や現地学生との交流を進め、2009 年度からは森林リサーチ科の研修旅行として継続しています。今年度の環境大臣表彰は国際貢献部門として全国で唯一の受賞を受けたものです。本当におめでとうございませす。その他でも、部活動では自転車競技部がインターハイ近畿予選二位、剣道部男子が近畿大会出場、農業クラブでは近畿大会意見発表の部で最優秀賞等よい成績をあげられていることも聞き大変心強く思います。このように授業の他にも日々努力している生徒諸君、また、指導いただいている先生方に敬意を表している次第です。

去る 12 月 12 日には、美山文化ホールで第六回「北桑田高校の未来を創る会」を南丹市、京都市、美山町地域振興連絡協議会、京北自治振興会、北桑田小、中、高 PTA 連携会議の協賛を受け多くの方々のお出席を得て開催することができました。今後とも美山・京北地域の方々のお支援を受け、学校、PTA、後援会、同窓会が連携して進めていきたいと思ひます。

後援会費の集金につきましては、毎年 12 月に後援会報と共にお願いしておりましたが、地域によっては、種々の後援会、保存会等の徴収があり負担になっているという声がありましたので、その活動を延期しておりましたことを御理解いただき、御協力をお願いします。PTA の地域の役員の皆様に会報配布と会費集金をお願いするためお伺いしていただきますので、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

今後とも、地域の高校を守るため、御支援賜りますようお願いし、御挨拶とさせていただきます。

●平成 21 年度 後援会会計報告●

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
繰 越 金	174,305	174,305	0	平成20年度から繰越し
会 費	2,500,000	2,365,500	△ 134,500	旧部内集落（京北、美山）、旧部外の保護者、関係交通会役員
雑 収 入	695	142	△ 553	預金利息
合 計	2,675,000	2,539,947	△ 135,053	

項 目	予算額	決算額	残 額	備 考
会議運営費	70,000	45,800	24,200	
会議費	20,000	24,730	△ 4,730	会議茶菓子代等
事務費	40,000	17,170	22,830	連絡用切手、FAX用紙等
旅 費	10,000	3,900	6,100	役員会議旅費
非 業 費	2,530,000	2,359,942	170,058	
会報発行費	130,000	106,552	23,448	印刷代、用紙、FAX等
未来を創る会活動費	100,000	64,760	35,240	PTA、商工会、後援会三者分
学校行事等補助費	100,000	57,530	42,470	ひかり応援への備上料等
クラブ活動補助費	2,200,000	2,131,100	68,900	
(選手派遣)	1,100,000	1,092,100	7,900	全国・近畿大会出場生徒交通費補助
(対外試合)	1,000,000	961,000	39,000	対外試合交通費補助
(物品購入費)	100,000	78,000	22,000	吹奏楽楽器修理代
予 備 費	75,000	0	75,000	
合 計	2,675,000	2,405,742	269,258	

収入額合計 2,539,947 円
支出額合計 2,405,742 円
差 引 額 134,205 円
上記のとおり、平成21年度後援会会計の決算について報告します。
なお、残額 134,205 円 は平成22年度に繰り越します。

●平成 22 年度 北桑田高校後援会役員名簿●

役職名	氏 名	地 区	役職名	氏 名	地 区
会 長	高林 良樹	山国	理 事	澤田 利行	美山分校育友会長
副会長	荒田 義枝	同窓会長	〃	海老瀬 篤司	弓削
副会長	北小路 寿彦	PTA会長	〃	小野 隆一郎	周山
副会長	大牧 義夫	知井	〃	井川 和夫	宇津
理 事	上野 修一	山国	〃	藤原 治	細野
〃	中西 幸男	平屋	〃	新谷 定雄	黒田
〃	武田 修	宮島	〃	草木 太久実	鶴ヶ岡
〃	長 貢	北山	監 事	志賀 昭夫	弓削
〃	尾島 貞夫	中川	〃	村田 正夫	鶴ヶ岡
〃	藤 本 清	周山	顧 問	湯 浅 清	井崎
〃	野村 武	周山	〃	長 野 弘	知井
〃	大前 昌三	弓削	〃	眞里谷 隆司	校長
〃	上原 正義	大野	事務局	四方 卓治	事務長

第 6 回 『北桑田高校の未来を創る会』 開催
事務局 山名 英夫

昨年 12 月 12 日、美山文化ホールを会場に「第 6 回北桑田高校の未来を創る会」を、南丹市、京都市、美山町振興会協議会、京北自治振興会より御後援をいただき、更には北桑田小・中・高 P T A 連携会議の協賛などの御支援を受けて開催することができました。特に今回は、新たな取組として中・高校生によるパネルディスカッションをメイン企画として周山、美山中学校生徒会の協力を得て実施しました。「中・高生が考える北桑田の創造」をテーマに北桑田の将来像や地域活性化の視点から若い世代の生の声を聞くことができました。参加された皆さんからは「新たな創る会のコンセプトが鮮明になり来年度が楽しみ」このようなコメントが寄せられました。

小規模校であっても、この地域の後期中等教育を維持発展させるため本校として更に実践していく必要性が浮かび上がってきました。

創る会としても、多くの生徒達の取組や学校の実情を地域に発信して行く大きな役割を再認識し次年度への開催に向け皆様の御意見を拝聴しながら進めていく所存です。

結びにあたり、創る会開催に向けて関係各位の暖かい御支援に対しまして心より御礼申し上げます。



【編集後記】 今回の第 39 号後援会報は、例年になく遅い発行となりました。コンパクトにまとめた分、文字が多く窮屈になりましたが、お許しください。御意見・御感想をお待ちしております。（事務局）



御挨拶

校 長 眞里谷 隆司

後援会員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動につきまして御理解・御協力をいただき誠に有り難うございます。4 月から様々な学校行事や部活動にと日々生徒諸君は前向きな姿勢で積極的に取り組んでまいりました。一人一人が持つ力を十二分に発揮することができ、北高生としてすばらしい結果をもたらしてくれましたので紹介させていただきます。11 月 1 日から 4 日まで普通科は沖縄への研修旅行、森林リサーチ科は 5 日まで中国へ植林研修を行って参りました。中国研修は日中情勢が厳しい中ではありましたが研究課題を達成させるため事前学習を積み重ね、みんなで心を一にして挑んだ結果、満足のいく大きな成果を上げることができました。平成 16 年からの中国研修は、環境改善植林活動・環境教育人材育成活動の取り組みが高く評価され、平成 22 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を国際貢献部門で受賞いたしました。6 年間にわたる現地行政機関をはじめ現地住民からの期待を受けての森林再生や中国の若者との植林活動・環境教育に関するイベント体験等を今後も地球規模での環境意識の向上を図るため取り組んでまいりたいと思っております。

10 月には北海道札幌市で開催されました日本学校農業クラブ大会意見発表環境区分で老靱千央さんが優秀賞を、農業鑑定競技会林業の部に本校生 2 名・農業の部に分校生 1 名合わせて 3 名が出場し、本校の岡泰誠君が優秀賞を受賞いたしました。

部活動では、自転車部が 11 年連続 19 回目の全国総合体育大会出場、男子剣道部が本校初の近畿大会出場、放送部の全国総合文化祭のオーディオピクチャー部門出場、吹奏楽部は京都府吹奏楽コンクール小編成の部で銀賞を受賞いたしました。

分校では 11 月 5 日、6 日に文化祭を開催し、地域の皆様にもたくさんお越しいただき、また育友会員の皆様にも御協力をいただいて盛り上がりを見せた文化祭となりました。また、陸上競技部は全国定時制通信制体育大会・近畿大会に出場し活躍しており、今後の活躍が楽しみです。

このように生徒一人一人の頑張りや、成果として着実に現れており、全国大会や近畿大会の大舞台でもトップレベルの活躍ができるようになってきています。北桑田高等学校は小規模な学校ではありますが、逆にその利点を大いに生かし、生徒一人一人が輝き、自信を持って北桑田高校を誇りに思うことができますのも後援会の皆様の精神面及び金銭面の両面に渡っての支えがあつての賜物と深く感謝しております。

私たち教職員は、高い可能性を秘めた生徒たちとともに、すばらしい環境の下でさらに磨きのかかった教育を進めてまいります。会員の皆様には今後とも力強いサポーターとして、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

●進路状況について●

進路指導部長 大石 敏朗

昨年度本校3年生の合格内訳は延べ数で、国公立大学が名古屋大・神戸大・静岡大・鳥取大(2)・京都工繊大・京都府大(4)・岡山県大の11名(7校)、私立大学が早稲田・明治・日大・同志社(2)・立命館(4)・京都産大(5)・龍谷(3)・佛大・大谷(2)・京女・京都外大・京都橘・花園(3)・京都ノートルダム(3)・明治国際医療・京都精華(2)・京都造形芸大・追手門学院・大阪産大・大阪学院・大手前(2)・大阪電通大・帝塚山・畿央・びわこ成蹊・明海大学・日本福祉大学の45名(28校)、短期大学が華頂・成美・鹿児島女子・名古屋学芸大の4名(4校)、専門学校が公立南丹看護(2)・京都府医師会看護・京都歯科医療技術・福知山高等技術・京都医健・京都保育福祉(3)京都栄養医療(2)・大原学園(4)・日産京都自動車・京都建築・京都芸術デザイン・辻製菓・大阪ダンス&アクターズ・キャリアールホテル旅行・創造社デザイン・東京農業大学農学部附属富士農場の23名(15校)、就職が美山町森林組合・北桑会(6)・日東精工・ケイテクノス・国家公務員Ⅲ種・京都府警察官(2)・海上自衛隊・陸上自衛隊(2)の15名でした。他にも縁故就職で地元企業にも数名がお世話になっております。これらの背景には、生徒諸君の努力の結果ですが、それを支えてこられた御家庭・地域の教育力があってのもので、そこに学校の支援が加わっての三位一体の結果と考えております。

本年度の三年生現在の状況は、国公立大学7名、私立大学43名、短大8名、専門学校35名、就職14名、内公務員が2名と健闘しております。これからも本校の生徒一人一人が全力で自分の進路を切り拓いていけるように、御家庭と地域の皆様、後援会員の皆様の御理解と御支援を重ねてお願いいたしまして、進路状況報告とさせていただきます。

●沖縄研修旅行(2年生・普通科)●

研修旅行担当 中村 安希子



去る11月1日から4日まで、普通科男子25名、女子40名の計65名が参加しました。研修の柱である亜熱帯地域の自然体験、沖縄独自の文化体験、日本で唯一地上戦となった歴史を知る平和学習、いずれも充実したものにすることができました。

生徒のアンケートをみると、「旅行先として沖縄はよかった」「研修旅行として全体的によかった」という意見が圧倒的でした。

美しい場所や珍しいものが見られたということも確かにあるでしょうが、沖縄の方の素朴で温かい人柄に触れたことや、自分たちが集団行動の規律を守り、主体的な活動ができたことがその要因ではなかったと考えられます。

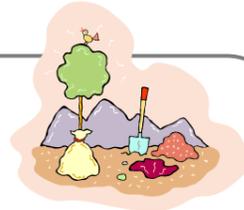
旅行に飛行機を使うこと、旅行場所に沖縄を選んだこと、ぐすく(城)跡や水族館等様々な場所を訪れたことなども、どれも期待に添えたと思われまふ。事前に「沖縄かぁ」と言っていた生徒も、アンケートに「とてもよかった」と記入していました。特に、同年代の顔写真が並びひめゆり資料館等では、それぞれが平和への思いを強くしたようでした。

国際通りでの班別行動の時間を十分にとりましたが、事前に情報をゲットし絞っておくとか、夕食をとる店を予約して時間を有効に使うとすると、「今時の高校生」らしさも発揮していました。3日目の夜に、全員でレクリエーションをする機会を持ちました。旅行委員の企画で、部屋ごとの発表とクイズ大会を行い、楽しい交流の時間にする事ができました。これらの取り組みが今後の学校行事の自治の力を育む種になることを願っています。



●中国研修旅行(2年生・森林リサーチ科)●

研修旅行担当 藤原 菜世



森林リサーチ科2年生は、11月1日から5日にかけて、中華人民共和国へ研修旅行に行ってきました。行き先は、北京と西安です。まだ暗い中を、バスで関西国際空港へと向かい、飛行機で中国へ飛び立ちました。

中国に降り立ってからは、そのスケールの大きさに圧倒されました。空港、建物、道路など、日本とはその大きさもそこに暮らす人の多さも桁違いです。また、急ピッチで発展が続く中国は、建設ラッシュであり、大きなクレーンが街のあちこちで稼働していました。その反面、一歩路地裏に入れば、発展から取り残されたような暮らしを目にしたりと、市街地の外に出れば、昔ながらの農村の暮らしを見ることができたりと、その格差に愕然としました。異国の文化やお国事情に触れ、日本では学べないことを肌で感じることができました。

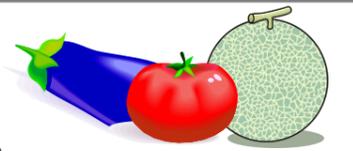


さらに、研修の一番の目的である植林を実施しました。吸水ポリマーという樹脂を使い、土壌の保水性を高める実験を昨年から引き続き行いました。その本格的な調査一年目として、自分達の苗木を植えました。植林地の土は固く、岩がごろごろと出てきます。皆、力いっぱい穴を掘りました。この実験は、森林リサーチ科の後輩へと引き継がれていきます。

今回は、日中の関係がぎくしゃくとしていたこともあり、研修実施に向けては直前まで御心配をおかけしました。しかし、クラス全員が参加、無事植林を成功させて帰校できました。この経験が、自分の未来を切り拓く原動力になっていくようにと願っています。

●美山分校の状況●

副校長 新宮 和人



後援会の皆様におかれましてはますます御清祥のことと存じます。平素は分校の教育活動につきまして格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。本年度、分校におきましては、生徒数43名と少数ですが、分校生はいろんな場でガンバリを見せております。特に、運動部活動としまして、陸上競技部が京都府の大会や近畿の大会のみならず、全国へと活躍の場を広げております。

全国につきましては、毎年の常連校となっており、今年も8月13日から15日まで、東京の国立競技場で開催されました第44回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会に4名が出場しました。成績面では今一歩でありましたが精一杯のがんばりを見せてくれました。全国レベルを肌で感じて次年度こそ全国一を目指して、今も努力をしております。10月31日に大阪で開催された近畿大会には9名が参加し、分校生力を合わせて学校対抗の部で男子が3位入賞という立派な成績をあげてくれました。

文化活動では平成22年度京都府高等学校定時制通信制生徒生活発表大会に参加し、分校での体験が自分の生き方に大きな影響を与えたことを、切実に訴えました。優秀賞は逃しましたが、奨励賞に輝きました。

農業科では農業クラブ全国大会に「農業鑑定」の部に出場しました。全国の農業科に学ぶ生徒から少なからず良い影響を受け、次年度へ繋げてくれるものと期待しております。

生徒数は少ないですが、体育祭・文化祭等学校行事には多数の保護者の参加がみられ生徒・保護者・教職員が一体となった教育が展開されています。伸び伸びとした環境で生徒達の個性が生かされる教育を今後も継続し、頑張りたいと思っています。

今後とも更なる御支援・御指導を賜りますようお願い申し上げます。



●自転車競技部の1年をふり返って●

顧問 田中良泰 上田敬史 秋山千代子

平成20年度の全国高校選抜、21年度の全国高校総体、全国都道府県対抗自転車競技大会の総合優勝三冠から1年。主メンバーが卒業し苦戦が予想された今年度でしたが、3年の徳田鍛造を中心に、練習量を落とすことなく(年間2万キロ)こつこつ努力を重ねた1年でした。春には7名の新入部員を迎え84kgあった体重がほんの3ヶ月で59kgにまで落ちた生徒がいます。中学校には自転車部があるところがなく、ほとんどの生徒が高校入学後本格的に自転車競技を始めます。その生徒達が1.2年の間に大きく成長し全国レベルで戦えるようになるのです。

昨年3月の高校選抜大会では、男子は、ポイントレース3位入賞だけに終わりましたが女子は、スクラッチレース優勝をはじめ3名が3種目で7つの入賞を果たしました。また、沖縄インターハイでは、4kmチームパシュートで8位入賞し北桑田高校の総合力をみせました。平成5年度から続く全国大会18年連続入賞の伝統を守りました。また、千葉国体でも、9名の京都府選手団の内、少年4名、成年4名の北桑田高生とOBが活躍しました。10月の全日本選手権でOBの畑段(同志社大2年)がスクラッチレースで優勝、学連チームで4kmチームパシュートに出場した大中(早稲田大1年)と浜地(日本大1年)が優勝と、3名の全日本覇者を輩出しました。6月には3年女子の岩田がアジア杯ケイリンで3位入賞、徳田がドイツのステージレースに日本代表として出場するなど国際的にも活躍しました。先輩に続けと2年生の帖地が全日本ジュニアロードU-17で2位入賞、1年の徳田が日本代表強化合宿に招聘されるなど来年度への展望が開けてきました。

この3月には、熊本、北九州で全国高校選抜大会が開催され今年度から新設された女子学校対抗で総合優勝を狙います。また、男子は京都府代表6名を独占し学校対抗総合入賞を目指します。また6名の3年生の進路も全員決定しました。国立の鹿屋体育大学や立命館大学、朝日大学で競技を続けるもの、筑波大学で林学を学ぶもの、看護師や自動車整備士を目指し明確な進路希望を持ち卒業を迎えます。北桑田高校で培った強い精神力で立派な社会人として活躍して欲しいと願っています。いつも物心両面から応援して下さい後援会や地元の方々の声援に感謝し、これからもしっかり取り組んでいきます。

